

老健大会で自己研鑽

新たな知識を取り入れサービスの質を向上

系でんわ

【発行】

リハビリセンター
グリーンTAOKA
広報委員会

徳島市川内町
北原31-3
088-678-5555



第311号



徳島県介護老人保険施設大会へ参加

昨年は当施設の取り組みを2演題発表しましたが、今年は新築移転の準備等で演題の発表は行えませんでした。そのため、介護職、看護職、リハビリ職、管理栄養士、支援相談員等他施設の取り組みを学び当施設の介護サービスへ生かすために老健大会に参加をいたしました。



認知症に対するリハビリで認知機能のみならず食事摂取量が増加した事例や、当施設も導入している見守りカメラを用いた取り組みなど、関心する内容はばかりでした。さっそく施設で取り入れ、実践しようと考えております。

来年は当施設が取り組んでいる「ノーリフティング」や導入した「見守りカメラ」を用いた介護の実践について発表する予定です。

ご利用者が安心して施設生活を送り満足していただけるよう、日々研鑽に努めてまいります。

(事務部 新濱大輔)

リハビリ実習

徳島医療福祉専門学校から理学療法学科の学生が5日間の臨床実習に来られていました。今回の実習では施設リハビリで入所部門の役割や臨

床検査の大切さについて学んでいきました。

初日はオリエンテーションを実施し、施設の役割や取り組みについて理解を深めてもらいました。その後、コミュニケーションの回り方や臨床検査を見学し、知識を深めてもらいました。

今回の実習で当施設の職員も基本に立ち返り、ご利用者様とのコミュニケーションや関係性の構築の重要性を再認識することができました。今後はより一層、ご利用者様へ寄り添うリハビリが提供できるよう励んでまいります。

(リハビリテーション科 津司洋人)



インフルエンザ予防

毎年、秋から冬にかけてインフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、場合によっては重症化する恐れもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させない、周囲にうつさないことが大切です。

インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。具体的には

- ① 流行前にワクチン接種を実施する。
 - ② 手洗いを習慣化する
 - ③ 咳エチケットの周知
 - ④ 人ごみを避ける
 - ⑤ 湿度をコントロールする（50%～60%が望ましい）
- などが挙げられます。
- 健康に過ごすことができるよう、生活リズムを整えバランスの取れた食事や十分な睡眠（休養）をとり体力や抵抗力を高めましょう。

(看護部 矢野早苗)



介護実習

四国大学介護福祉学科の学生2名が9月30日から10月27日の間、介護実習を行いました。中国とベトナムから介護を学ぶため四国大学へ留学生として来日されている外国人の方でした。

今回は介護の基礎実習で、日常生活のケアや介護老人保健施設で生活するご利用者様について学びていただきました。初日のオリエンテーションでは施設概要、取り組み、ご利用者様との接し方について学びました。長期実習でご利用者様とコミュニケーションを継続することで、次第に信頼関係も生まれ「一緒にレクできて楽しかった」「上手に日本語しゃべれるなあ。外国の話が聞けてええ



なあ」と普段と違う表情を浮かべていました。今後も実習生を継続的に受け入れていきますが、当施設の介護職員の技術力・指導力が求められます。介護部全体で技術向上を図り、ご利用者様がよりよい生活がえられるよう頑張っていきます。

(介護部 大平雅資)

川内の風景

グリーンTAOKA3階食堂から景色を見渡すと、南西の方向に吉野川に架かる旧吉野川橋がよく見えます。長さ1071M、「古川橋」の呼び名でも親しまれているこの橋の歴史は古く、昭和3年に完成した当時は東洋一の長さを誇ったとの事です。その後100年近く経った今でも大切に維持補修されながら徳島の主要ルートとして大活躍しています。

以前、ご利用者様から「私が若いころには橋が無かったけん渡し舟で向こう岸へ渡ってたんだよ」と聞かされたことがあります。調べたところ、現在の橋が架かる以前には個人が架けた木製の橋があり、それ以前はなんと117か所の渡し場があったそうです、県民たちの大切な交通手段だったそうです。ご利用者様の知人の中には、渡し舟に乗って板野郡へ嫁入りされた方もおられたと聞きました。

吉野川を眺めながらその光景を想像するととても風情があるなあとしみじみ思いました。

(通所リハビリ 熊谷美智子)



渡し舟の様子



3Fから見た吉野川

通所だより

通所リハビリでは、おやつ後にレクリエーションを実施しています。数あるレクの中、今回はカラオケをご紹介します。

歌うのが好き、聞くのが好き、一人じゃ無理だけどみんなと一緒に歌いたい・・・そんな歌好きな方はたくさんいらっしゃいます。懐かしいメロディーを口ずさみ、思い出を巡らせながら弾む心と笑顔は身体のリハビリと同様にとても大切なリハビリになりますね。

ご利用者様にとても歌が好きな方がいらつしやいます。持ち歌はなんと四千曲とのこと。その中から3曲披露していただきました。すでに他のご利用者様がファンになっており、一緒に口ずさむ人、聞きほれる眼差し、ちょっとしたミニコンサートの

ようです。歌い終わると拍手喝采。こうして皆様と共に行うレクリエーションが次なる楽しみへと繋いでくれます。

カラオケ以外にも多数レクリエーションは用意しておりますが、何かやってみたいことなどありましたら、ぜひリクエストをお願いします。

(通所リハビリ 白石美砂子)



【施設の予定】

- 11月22日 消防訓練
- 11月26日 施設見学会
- 12月18日 新規EPA職員受入
- 12月25日 クリスマス会

